

関係代名詞（主格）の that の導入『名前が出てこない！』授業案（a thing that ～／a person that ～ で、名前かわりに説明して伝える）

関係代名詞の主格を習った教室に出る誤りは、ほぼ3つです。It's a machine that it sells drinks. と that のあとに主語をもう1つ置く。It's a person that check your teeth. と動詞の s を落とす。It's a person which teaches tennis. と人に which を使う。どれも、that を「2文をつなぐ記号」としか見ていない誤りです。この授業案は、英語で話している物の名前が出てこない—英語を使う人ならだれでも出会う場面から入ります。先生の It's a thing that keeps you dry. を聞いて「かさ！」と当ててるうちに、that のあとにすぐ動詞が来ること、人にも物にも同じ that を使っていることを、生徒が自分で見つけます。

この教材で解決できる悩み

- that のあとに it や he を置いて、主語が2つある文を書く
- that のあとの動詞の s（3単現）を落とす
- 関係代名詞を「2文を1文にする書きかえ」でしか使えない

教材の概要

項目	内容
対象	中学3年（NEW CROWN 3 Lesson 5／SUNSHINE 3 PROGRAM 5／Here We Go! 3 Unit 4 ほか、関係代名詞〈主格〉の単元）
文法項目	関係代名詞・主格の that（人にも物にも）と who ／ which・分詞の後置修飾との言い換え
形式	授業案A4（ペアのゲームの語の一覧と、日本のことばの説明例の一覧つき）
所要時間	50分×1コマ
準備物	印刷のみ（投影版はプロジェクタ）・ペアに語の一覧を1部（下の表を印刷か板書）

授業の流れ（50分）

導入：名前が出てこない！（15分）

先生が「英語で話していると、物の名前が出てこないことがある。そういうときは、説明すればいい」と言ってから、6問のクイズを出します（ALT がいれば ALT が読む）。説明を1文ずつ足し、生徒は4つの候補（投影版なら画面の下）から当てます。

1. It's a thing that opens when it rains.
2. It's a thing that keeps you dry.
3. People often forget it on the train.

1文目ではかさとレインコートに手が分かれ、3文目でかさ（an umbrella）に決まります。以降は It's a person that works in a white coat. ／ It's a person that checks your teeth. (a dentist)、It's a machine that keeps drinks cold. ／ It's a machine that stands on the street. (a vending machine=1文目で冷蔵庫に手が挙がる)、It's a person that takes care of many books. (a librarian)、It's a thing

that gets smaller and smaller. (an eraser=I文目は、ろうそく・鉛筆・石けんにも当てはまる)、It's a person that teaches a sport. (a coach) と進みます。答えは物と人が交互です。答えのたびに2文目を黒板に書き、that に線を引きます。

気づき：人にも物にも、同じI語（8分）

黒板の6文を指して問います。「先生は人にも物にも同じ語を使っていた。どの語？」。that が出たら「that のあとには何が来ている？」—keeps・checks・stands・takes・helps・teaches と、すぐ動詞です。「どうして s が付くのか？」には、that が a person や a thing の代わりに主語になっているから、が生徒の言葉で出るまで待ちます。前の時間に who / which を習ったクラスなら「人は who、物は which、that はどちらにも」（人には who がふつう、と一言）。

説明の文	合体する前の2文
It's a person that checks your teeth.	It's a person. + The person checks your teeth.
It's a machine that keeps drinks cold.	It's a machine. + The machine keeps drinks cold.

続けて誤りを3つ板書き、直させます。It's a machine that it sells drinks. (that が主語の代わり=it は要らない)、It's a person that check your teeth. (that が指すのは a person=checks)、It's a person which teaches a sport. (人には who か that)。最後に分詞の時間の形と並べます。It's a thing that is used for writing. = It's a thing used for writing.

展開：ペアで「名前が出てこないゲーム」（15分）

ペアで下の一覧をI部見ます。A はI語を心の中で決め、名前を言わずに It's a person that ~. / It's a thing that ~. で説明します（3文まで）。B は一覧から当てて Is it a key? とたずね、A は Yes! か No. で答えます。3語ずつで交代します。

人	物	日本のもの
a pilot / a bus driver	a key / a calendar	kotatsu / omamori
a farmer / a police officer	a smartphone / a refrigerator	furoshiki / randoseru

I文目で候補が1つにしばれないことは、導入の消しゴムの問題で体験済みです。机間では、that のあとの it、動詞の s、人に which の3つを聞き取ります。直すのは、ペアが終わってから全体で。

出口：ALT の先生のための「日本のことば」ミニ辞典（8分）

日本のことばを3つ選び、ALT の先生に説明する項目を書きます。

日本のことば	説明の例
kotatsu	It's a table that has a heater under it.
omamori	It's a small bag that brings you good luck.
furoshiki	It's a cloth that is used for wrapping things.
senpai	It's a student who is older than you in your club.

例に無いことば（上履き・給食当番・お年玉など）を1つ以上入れます。机間で見るのは、導入の誤りと同じ3つです。紙は回収して ALT に渡し、次の時間に ALT がいちばん分かりやすかった説明を3つ読みます（いなければ先生が）。

まとめ（4分）

「名前が出てこないときは a thing that ～ ／ a person that ～ で説明できる。that のあとは動詞」と黒板の6文を指して終わります。

ALT が日本に来て初めて知ったことばがあれば、出口の例をそれに替えます。

定着・テストへの接続

定期テストと入試では、2文を1文にする書きかえ、who・which・that の選択、並べかえ、日本の物を英語で説明する作文で出ます。気づきの誤り3つと出口のミニ辞典がその形です。関係代名詞の1時間目は『スリーヒントクイズ』授業案（who ／ which）、目的格と接触節は『3年間ベスト』授業案、分詞の後置修飾は『名探偵！～している人はだれ？』授業案です。練習は関係代名詞の定着ドリル、確かめは関係代名詞の10分小テスト、活用は人・物あてクイズをつくろうへ続きます。Premium では関係代名詞 who・which・that の使い分けワークシートとヒント工場の人物あてクイズに続きます。

投影版パワーポイント（Premium）

導入15分のクイズ6問をそのまま映せるパワーポイントです（全27枚・説明が1文ずつ増える・下に4つの候補の札・話者ノートつき）。Premiumのファイルです。

